

日本工業標準調査会 標準部会 第24回 窯業技術専門委員会（書面審議）

議事録

1. 回答期限 : 平成20年4月2日（水）
2. 議決日 : 平成20年4月3日（木）
3. 発送先 : 10名

植松委員長（長岡技術科学大学）、鶴澤委員（硝子繊維協会）、荻原委員（鹿島建設㈱）、小澤委員（JFEスチール㈱）、片山委員（セントラル硝子㈱）、加山委員（黒崎播磨㈱）、阪井委員（日本ガイシ㈱）、永田委員（東邦テナックス㈱）、町田委員（㈱日立製作所）、山内委員（独）産業技術総合研究所

事務局 : 1名

森野（経済産業省 産業基盤標準化推進室）

4. 回答結果

回答者 : 9名 無回答者 : 1名

5. 議題

- (1) 2008年版国際標準化アクションプラン（案）の審議

6. 議事

- (1) 2008年版国際標準化アクションプラン（案）の審議

資料2について審議を行い、全員賛成で承認された。（無回答者も賛成とみなした。）

ただし、以下の指摘事項があり、訂正を行った。

■ 3. 重点TCの活動状況

- (2) 対象としている TC/SC/WG の最近の動向

ISO/TC33（耐火物）

の本文6行目の「・・・幹事国である英国の基で・・・」を「・・・幹事国である英国の下で・・・」に修正

■ 4. 我が国の活動実績（2007年）

- (1) 全体概要

ISO/TC206（ファインセラミックス）

の本文16行目の『・・・及びWG41では、「常温での多孔質セラミックスの熱衝撃試験方法」がCD原案・・・』を、『・・・及びWG41では、「多孔質セラミックスの熱衝撃試験方法」がCD原案・・・』に修正。

■ 4. 我が国の活動実績（2007年）

- (2) 活動実績

⑤活動実績の評価

ISO/TC33（耐火物）

の本文1行目の「・・・我が国がコンベナーとして・・・」を「・・・我が国がコンビナーとして・・・」に修正。→ 本文全体を「コンビナー」で統一。

また、指摘事項ではないが、以下の箇所を事務局の判断で削除する。

■ 2. 重点TCの選出及び国際標準化戦略（中期的計画及び課題）

ISO/TC206（ファインセラミックス）

の本文29行目の

『「温度傾斜場の耐熱試験方法」（経済産業省委託事業、2008年提案予定）は、耐熱コーティングの分野であるが、現在該当TCであるTC107（金属および無機質皮膜）が不活発な状態であるため、TC206に提案する場合に備えた検討と準備を進めることとする。』

を削除する。

削除する理由：

「温度傾斜場の耐熱試験方法」の提案先として、本アクションプランの該当分野であるTC206となる可能性があったが、本アクションプランの該当分野ではないTC107への提案が本審議の議決日である2008年4月3日の時点で、ほぼ確実となったため。

以 上